

ポスター発表プログラム (12月21日版)

1月11日午後と12日午後の両日とも全ポスターを掲示します

番号	発表者	題目
(対流圏)		
1	古谷浩志(科技団)、谷本浩志(東大・理)、秋元 肇(地球フロンティア)	利尻島におけるオゾン・窒素酸化物(HNO ₃ , NO _x , PAN)の季節変動(RISOTTO2000)
2	加藤俊吾(科技団)、谷本浩志(東大理)、秋元肇(地球フロンティア)、梶井克純(東大先端研)	2000年利尻集中観測でのハイドロカーボンの測定
3	金谷 有剛(地球フロンティア)、中村憲司(東大先端研)、谷本浩志(東大理)、松本淳(東大先端研)、加藤俊吾、古谷浩志(科技団)、秋元肇(地球フロンティア)	2000年利尻集中観測におけるOH/HO ₂ ラジカルの挙動: 実測とモデル計算の比較
4	橋本茂、駒崎雄一(科技団)、竹内良輔、成田祥、田中茂(慶應理工)	離島地域(沖縄、隠岐、利尻)における大気中のホルムアルデヒド、アセトアルデヒドの濃度分布及びその挙動
5	堤 之智(気象庁)、澤 庸介(気象研究所)	富士山頂での対流圏オゾンの季節変化その2
6	池田 将志、長谷部 文雄(茨城大理)	流跡線のクラスター分析を用いた熱帯太平洋域物質輸送過程の解析
7	安永 数明、木田 秀次(京大院理)	積雲対流による物質の鉛直輸送に関する研究
8	石川善徳、北和之(東大先端研)、鶴田治雄、米村正一郎(農業環境技研)、林正康(資源環境技研) Leong Chow Peng、Lim Sze Fook(マレーシア気象局)、近藤豊(東大先端研)	マレーシアで観測された2-5月期の対流圏オゾン増大現象と東南アジアでのバイオマス燃焼
9	白井知子(NASDA/EORC)、D. R. Blake、S. Meinardi、F. S. Rowland(University of California, Irvine)、近藤豊(東大先端研)、小池真(東大理)、北和之(東大先端研)、竹川暢之(名大STE研)、宮崎雄三(東大先端研)、町田敏暢(環境研)、西憲之(京大理)、B. Liley(NIWA, NZ)、J. Russel-Smith、A. Edwards(NT Bushfire Council, Australia)、川上修司、小川利紘(NASDA/EORC)	熱帯オーストラリアにおけるバイオマス燃焼による炭化水素類の放出量の見積もり(BIBLE-B航空機観測の結果より)
10	西 憲敬(京大理)	熱帯中上部対流圏における鉛直微細構造(BIBLE, SOWER)
11	川上 修司(NASDA/EORC)、北和之(東大先端研)、藤原 正智(北大地球環境)、小川利紘(NASDA/EORC)	2000年のインドネシア・ワトゥコセツにおけるオゾン観測
12	町田敏暢(環境研)、北和之、近藤豊(東大先端研)、井上元(環境研)、小川利紘(NASDA/EORC)	BIBLE-Bで観測された北半球中緯度から南半球中緯度にかけての大気中二酸化炭素濃度の空間分布
13	伊藤 昭彦(地球フロンティア研究システム)、及川武久(筑波大生物科学系)	大気CO ₂ 濃度の経年変動に対する陸上生態系の影響: 1953-1999年のモデルシミュレーション
14	Zifa Wang、I. Uno、H. Akimoto(地球フロンティア)、H. Ueda(京大防災研)	Numerical simulation of acid rain and neutralization of yellow sand in East Asia in April 1993

15	滝川 雅之(地球フロンティア)、須藤 健吾、高橋 正明(東大気候センター)、秋元肇(地球フロンティア)	ナudging対流圏全球光化学モデル
16	原 壮史、三浦和彦、宇井剛史、岸田岳士、宇山悠紀子、中江 茂(東理大・理)、児島 紘(東理大・理工)、横内陽子(環境研)	みらいIMR00-K04航海で捕集した個別粒子の元素組成
17	宇山悠紀子、三浦和彦、原 壮史、宇井剛史、岸田岳士、中江 茂(東理大・理)、児島 紘(東理大・理工)、横内陽子(環境研)	みらいIMR00-K04航海で捕集したバルク試料の化学組成
18	岸田岳士、三浦和彦、原 壮史、宇井剛史、中江 茂(東理大・理)、杉本伸夫、松井一郎(環境研)、米山邦夫(海洋科学技術センター)	みらいIMR00-K04航海で測定した大気境界層内エアロゾルの鉛直分布
19	宇井剛史、早野輝朗、原 壮史、三浦和彦、中江 茂(東理大・理)、児島 紘(東理大・理工)、植松光夫、大木淳之(東大・海洋研)、横内陽子(環境研)	白鳳丸KH-00-3航海で捕集した個別粒子の元素組成
20	杉本伸夫、松井一郎、清水 厚(環境研)、荒生公雄(長崎大)、村山利幸(東京商船大)	A C Eアジアにおけるライダー観測：地上ネットワークおよび研究船「みらい」による観測
21	大木淳之、植松光夫(東大海洋研)、三浦和彦(東理大)	海洋大気における硫酸塩エアロゾルの粒径分布特性
22	松本 潔、植松光夫、太田一岳、笹川基樹(東大海洋研)	西部北太平洋上における大気エアロゾルの化学組成
23	鈴木 興司、定岡秀典、三浦和彦、中江 茂(東理大・理)	都市域における大気エアロゾルの光吸収特性
24	児島紘(東理大・理工)、松本英夫(東理大・院)、永野勝裕(東理大・理工)、三浦和彦(東理大・理)	海洋大気中のラドンの変動要因について
25	田口 彰一(資源環境技術総合研究所)	東アジアのラドンの発生量について
26	豊田賢二郎(地球フロンティア)、高橋正明(東大気候システム)、秋元肇(地球フロンティア)	海塩粒子化学過程粒径別計算モデルにおける反応性ハロゲンの動態
27	成川正広、松永壮(北大院地球環境)、河村公隆(北大低温研)、M.Li (MSC,Canada)、J.W.Bottenheim (MSC,Canada)	北極アラートで採取された積雪中の水溶性有機物の組成
28	永尾一平、増澤敏行、田中 浩(名大水圏研)	黒潮周辺における大気、海水DMSとエアロゾルの分布
29	田中 泰宙、田中浩(名大水圏研)	対流圏硫黄循環の数値シミュレーション
30	鈴木一成、土器屋由紀子(東京農工・農)、林和彦、伏見克彦(気象大学校)	多摩丘陵における地表オゾンの夜間高濃度現象について
31	斉藤伸治、永尾一平、田中 浩(名大水圏研)	(仮)沿岸地域で観測されたオゾン濃度の日変化および季節変化
32	国松 洋、内野 修、赤木万哲、小田切さやか、大友 猛、吉田雅司、鎌田匡俊(気象庁)	気象庁GAW観測所での地上オゾン観測について
33	三浦信明、橋本健朗(科技団・都立大院理)	$O(^1D)+O(^2X)$ 衝突における電子脱励起過程に関する理論的研究
34	高橋 開人、菅原 道彦、藪下 聡(慶應理工)	水分子のOH結合の高次倍音振動に関する理論的考察

35	橋本智裕、Salai Cheettu Ammal (科技団), 岩田末廣 (広大院理)	OHラジカルによるイソプレンの酸化反応に関する理論的研究
36	竹上 竜太、藪下 聡(慶應理工)	酸素分子のHerzberg吸収帯についての理論的考察
37	中野幸夫、中道真司、後藤万佐司、橋本訓、川崎昌博 (京大工)	Cavity ring-down study of the reactions Br + DMS and BrO + DMS
38	後藤 万佐司、川崎昌博 (京大工)、T. J. Wallington, M. D. Hurley (Ford Research Laboratory)	Atmospheric degradation mechanism of CH ₂ FOCH ₂ F
39	後藤 万佐司、川崎昌博 (京大工)、T. J. Wallington, M. D. Hurley (Ford Research Laboratory) E. Villenave (Laboratoire de Physico-Chimie Moleculaire, Universite Bordeaux I)	Atmospheric Chemistry of Tetrachloroethene(Cl ₂ CCl ₂): mechanistic study of the reaction of CCl ₃ CCl ₂ O ₂ radicals with H ₂ O
40	森田 明弘 (京大院理)、J. T. Hynes (Univ. of Colorado, Boulder)	Theoretical analysis of Sum Frequency Generation spectra for liquid-vapor interfaces
41	Iulia V. Patroscu-Klotz, Shiro Hatakeyama (環境研)	Particle formation in the gas-phase oxidation of Dimethyl Sulfide
42	Bjoern Klotz、Nobuaki Washida (環境研)	Phenol Formation in the OH Initiated Oxidation of Benzene
43	今村 隆史、猪俣 敏、畠山 史郎、鷲田 伸明 (環境研)	トルエン/NO _x /空気/光照射系でのオゾン生成に対する温度依存性
44	瀬戸口修 (資源環境技術総合研究所)	低級アルコキシラジカルと酸素分子の反応の理論計算
45	佐藤 優、瀬戸口修 (資源環境技術総合研究所)	ミー散乱領域粒径粒子の前方散乱光のFTIR測定 - PSCs観測に対する関連 -
46	高見昭憲 (環境研)、幸田清一郎 (東大工)	大気微量化学種の取り込みにおける液相反応の効果
47	持田陸宏、Barbara J. Finlayson-Pitts (University of California, Irvine)	FTIRを用いたシリカ表面上の NO _y 不均一反応の観察: 大気中 HONO の生成経路に関する検討
48	長門研吉 (高知高専)、金燦洙(広大・工)、足立元明(阪府大・先端研)、奥山喜久夫(広大・工)	NH ₃ /SO ₂ /H ₂ O/Air 混合ガス中におけるイオン - 分子反応とイオン核生成
49	深堀正志、青木忠生 (気象研)、渡辺猛 (東レリサーチセンター)	3.8-4.8ミクロン領域における一酸化二窒素の吸収線パラメータ
50	小林博和 ((財)電力中央研究所)	フーリエ変換されたVoigt関数を用いた大気透過率のline-by-line計算
51	成田祥、林慶一、田中茂 (慶應理工)、橋本茂、駒崎雄一、古谷浩志 (科技団)、秋元肇 (地球フロンティア)	レーザーアブレーション誘導結合プラズマ質量 (LA/ICP-MS) 分析法を用いた日本近海における大気粉塵中微量金属の測定と東アジアからの
52	井上武治郎、成田祥、田中茂 (慶應理工)、橋本茂、駒崎雄一 (科技団)	拡散スクラパー法を用いた大気中の無機ハロゲンガスの自動連続測定法の開発
53	鷲巢 祐己、松見 豊、高橋けんし (名大STE研)	レーザーイオン化エアロゾル分析器の製作
54	鍵 絵里子、林田 晃、石渡 孝 (広島市大・情報) 佐村 健、橋本訓、川崎昌博 (京大・工) 松見 豊 (名大STE研)	キャビティリングダウン分光法による3倍音吸収を用いた水の180/160同位体比測定

55	村上慎一、高橋けんし、松見豊（名大STE研）、小池 真（東大理）、近藤 豊（東大先端研）、竹川暢之（名大STE研）、池田響（東大先端研）、柏原拓史、鳥山哲司（名大STE研）	レーザー誘起蛍光法NO2計と光分解化学蛍光法NO2計の低濃度における相互比較
56	矢澤健司、田丸 卓（航空宇宙技術研究所）	航空機による風の観測
	(成層圏)	
57	原 圭一郎（極地研）、長田和雄、松永捷司、岩坂泰信、柴田隆（名大STE研）	冬季北極中での大気エアロゾル成分の湿性・乾性沈着
58	雨宮百合子、齋藤 尚子、林田 佐智子（奈良女）、白石浩一、林 政彦（福岡大）、笹野泰弘（環境研）	ライダー及びILASデータを用いた極域成層圏雲の解析 -1997冬期南極 化学組成に注目して-
59	杉田孝史（環境研）、河本望（NASDA/EORC）、中島英彰、秋吉英治、神沢博、横田達也、笹野泰弘（環境研）	ILASで観測された北極極渦消滅後の微量成分分布
60	中島英彰（環境研）、河本望（NASDA/EORC）、神沢 博、笹野泰弘（環境研）	ILASが観測した極渦崩壊時における微量成分分布について（その1）
61	佐藤佳宏（科技団）、中島英彰、横田達也、笹野泰弘（環境研）	ILASにより観測された極域中間圏雲について
62	Alexander Lukyanov、Hideaki Nakane、Hideharu Akiyoshi（環境研）、Vladimir Yushkov（CAO）	A stratospheric diabatic trajectory-chemistry model: Simulation of chemical ozone loss inside polar vortex
63	小林展隆、村田功、福西浩、（東北大院理）、中根英昭（環境研）	赤外分光観測による大気微量成分の全量導出精度に及ばず初期高度分布の影響
64	村田 功、小林展隆、福西 浩（東北大院理）、中根英昭（環境研）	FT-IR観測によるつくば上空大気微量成分の変動
65	桑原徹也、田中浩（名大水圏研）	名古屋における、オゾン全量と都市大気の関係について
66	笠井康子（郵政省通信総研）、保立佳之（富士通FIP）、村山泰啓、水谷耕平、増子治信（郵政省通信総研）	アラスカ・フェアバンクスにおけるFTIR観測
67	鈴木勝久（横国教育人間）	キルナにおける成層圏微量成分の変動
68	秋吉英治（環境研）、滝川雅之（地球フロンティア）、永島達也（東大・CCSR）、黒川純一（富士通FIP）、菅田誠治（環境研）、高橋正明（東大・CCSR）、中根英昭（環境研）	CCSR/NIES ナッジングCTMによる96-97年の化学微量成分分布のシミュレーション
69	青木伸行、木下徳彦、巻出義紘（東大・アイソトープ総セ）、白井知子（NASDA・EORC）、青木周司、中澤高清（東北大・理）、本田秀之（宇宙研）	大気球サンプリング/GC-MS測定による大気中代替フロン等の高度分布とその支配要因
70	佐野琢己、鈴木 睦、柴崎和夫、小川利紘（NASDA/EORC）、川島高弘、久世暁彦（NEC）	GCOM-A1/ODUSプロジェクトの概要
71	鈴木 睦（NASDA/EORC）、ESTO/高スペクトル分解能センサ・サブワーキンググループ、ESTO/ATMOS-B1ワーキンググループ	IMG後継機及び関連するFTS方式センサの研究について

72	川島高弘、久世暁彦、森重隆、谷井純 (NEC)、鈴木睦、柴崎和夫、小川利紘、佐野琢己 (NASDA/EORC)、山本泰志 (NASDA/TKSC)	GCOM-A1/ODUS システム検討
73	高橋千賀子、谷口弘智、伊藤康裕 (富士通 FIP)、笠井康子、落合啓、瀬田益道、入交芳久、真鍋武嗣、増子治信 (CRL)、辻丸詔、白井知子、鈴木睦 (NASDA EORC)、尾関博之、西堀俊幸、中嶋崇、稲谷順司 (NASDA TKSC)	JEM/SMILESのデータ解析アルゴリズム開発
74	尾関博之、稲谷順司、佐藤亮太、西堀俊幸、池田直美、藤井泰範、中嶋崇、飯田幸栄、飯田光人、菊池健一 (NASDA/ TKSC)、増子治信、真鍋武嗣、落合啓、瀬田益道、入交芳久、笠井康子 (通信総研)、鈴木睦、白井知子、辻丸詔 (NASDA/EORC)、柴崎和夫 (國學院)、塩谷雅人 (北大)	JEM/SMILESの測器性能
75	森平淳志 (富士通ヴェルエスアイ株) 福井康雄 (名大理)、中根英昭 (国立環境研)、小川英夫 (大阪府大)、長浜智生 (名大理)	南米チリにおける200GHz帯C10ミリ波受信器の開発